

一般質問



保育の充実について

もりの しんじ
森野 真治 議員 新政みえ／伊賀市選出



問

令和7年4月1日現在の県内の待機児童数は、84人ですが、国の定義からは除外される、いわゆる隠れ待機児童³はその10倍以上存在しており、県が広域的な視点から「働きたくても子を預けられない」という課題の解決に乗り出すべきです。保育環境の充実にどのように取り組むのか、伺います。

答

待機児童発生の要因を保育士不足とする市町が多いため、保育士確保や保育体制の充実が必要と考えます。令和8年度は、保育士確保に向けて、新たに地域限定保育士試験⁴を導入するとともに、中高生を対象に保育の仕事の魅力発信を行います。また、周辺業務を担う保育支援者の雇用について市町を支援するなど離職防止・保育士の職場環境の改善を行います。今後もさまざまな主体と連携して保育体制の充実に取り組みます。

その他の
質問事項

- 河川内の竹林繁茂に伴う獣害対策について
- 幹線道路網の整備および維持管理について

ほか



県立高校の統廃合で増大する通学負担の平準化

むらばやし さとし
村林 聡 議員 自由民主党／度会郡選出



問

県が進める高校の統廃合により、県内に広大な県立高校の空白地域ができつつあります。そのような地域では、通学に大きな時間的・金銭的負担が発生しています。高校の統廃合により家庭に生じる重い通学負担は、県の責任において支援し、負担の平準化を図るべきと考えますが、いかがですか。

答

県では、通学費用に特化した支援はありませんが、家庭の経済状況や居住地によらず教育を受ける機会が確保できるよう、総合的な支援をしています。子どもの減少が進む中でも生徒に豊かな学びを提供し続けるためには、高校の配置はもとより、地域交通や子育て支援の在り方、県と市町との役割分担等も関係することから、通学費用を含めた子どもの学びの保障について、知事事務局や関係市町とも相談しながら進めていきます。

その他の
質問事項

- 市町の水道の持続化に向けた助言や支援
- 集団予防接種等が原因となるB型肝炎で不安になっている方について

ほか



里親支援センターの充実と里親の役割拡大について

よしの まさひで
芳野 正英 議員 新政みえ／四日市市選出



問

里親制度では、子どもが実親のもとに戻ると里親との縁は切れてしまいますが、家庭復帰後も児童と里親が関わる場を作るべきと考えます。要保護児童対策地域協議会⁵に里親が参画するなど、切れ目なく隙間のない支援に向けた体制整備をすべきと考えますが、県の見解を伺います。

答

児童が家庭復帰した後も、児童相談所が中心となり、可能な限り里親とつながりが持てるようにしています。児童によって、里親や実親との関係性、家庭環境はさまざまであるため、児童の希望等を踏まえつつ、児童にとって最善となるよう引き続き調整していきます。また、児童が家庭に戻った後、モニタリングや家庭の状況調査において重要な役割を担う要保護児童対策地域協議会に、状況に応じて里親も参画してもらえよう、取り組みます。

その他の
質問事項

- 就労選択支援サービスについて
- 障害福祉サービス事業所の不正受給への対応について

ほか



平和に対する知事の思い

やまもと のりかず
山本 教和 議員 自由民主党／志摩市選出



問

戦争の歴史を学ぶことは、過去を振り返るだけでなく平和の尊さを未来へ伝えていく営みであり、激戦地や慰霊の場を実際に訪れることは大きな意義があります。第二次世界大戦の激戦地となったパラオ共和国ペリリュー島を訪問し慰霊した知事に、平和と安全保障への思いをお聞きます。

答

平和は何よりも尊く大切です。一方、平和は簡単に壊れてしまうものでもあると考えており、平和を追求する気持ちを持ち続ける必要があると考えます。

また、安全保障の観点では、性善説に立たず想定されるリスクに万全に備えること、自らエスカレートさせず、冷静に対応することが必要と考えます。

その他の
質問事項

- 南海トラフ地震津波災害時の被害想定



「三重県南部地域振興プラン」の取り組みの状況と改定の考え方

ふじね まさのり
藤根 正典 議員 新政みえ／東紀州選出



問

県では、南部地域の課題解決のために、令和6年度からの3年計画である「三重県南部地域振興プラン」に沿った取り組みを進めています。

令和8年度が最終年度ですので、これまでの取り組み状況と課題認識に加え、計画の改定について、県の考え方をお聞かせください。

答

県では「若者の定着・人口の還流」、「地域産業の活力向上」、「賑わいのある南部地域」という同プランの3つの取り組み方向に基づき、事業を展開しています。プランの改定にあたり、現在行っている高校生等へのアンケート調査や市町への聴き取りのほか、これまでの取り組みの検証や各種データの分析、国の新しい動きへの対応や先進優良事例の調査等を今後の検討に生かし、プランの改定を丁寧に進めていきます。

その他の
質問事項

- 三重の豊かな自然と生物多様性の保全について
- 複式教育の充実に向けて

ほか



大杉谷登山道の安全対策の取り組み

にしば のぶゆき
西場 信行 議員 自由民主党／多気郡選出



問

吉野熊野国立公園内にある大杉谷は、国の天然記念物に指定され、「近畿の秘境」とも言われています。一方で、登山道においては毎年、事故や遭難が発生しており、特に、登山者に人気の高い景勝地であるシシ淵の安全対策が急務と考えます。県はどのように対応するのか、お伺いします。

答

県では、毎年4月の開山前に環境省、警察や消防等との合同パトロールを行うほか、ホームページでの注意喚起や、注意看板の設置等に取り組んでいます。今後は、老朽化したつり橋の改良や岩場へのチェーンの増設、登山計画の段階から安全意識を高めるための動画をを用いた情報発信等、ハード・ソフトの両面から安全対策を強化します。引き続き、大杉谷の魅力を国内外に発信し、安全な利用環境の整備を進めます。

その他の
質問事項

- 県立高等学校の活性化
- 史跡斎宮跡整備基本計画

ほか